なのゴシック

なのゴシックDisplay **W5-W9** ver. 1.0 なのゴシックText **W0-W7** ver. 3.1

https://n-yuji.info/totika-font3 https://totika.booth.pm/items/1101303

	なのゴシックDisplay											なのゴシックText	
東の空に、まあるい大きな月がのぼった。	乗の空に、まあるい大きな月がのぼった。	東の空に、まあるい大きな月がのぼった。	東の空に、まあるい大きな月がのぼった。	▼ 東の空に、まあるい大きな月がのぼった。	東の空に、まあるい大きな月がのぼった。								
漢字:ゴシックMB101 DB	漢字:イワタゴシックオールドF	漢字:イワタゴシックオールドB	漢字:太ゴB101	漢字:イワタゴシックオールドD	漢字:秀英角ゴシックB	漢字:太ゴB101	漢字:凸版文久ゴDB	漢字・秀英角ゴシックM	漢字:中ゴシックBBB	漢字:イワタゴシックオールドM	漢字:こぶりなゴシックW3	漢字:イワタゴシックオールドー	

12級21歯送り 漢字:中ゴシックBBB

13級22歯送り 漢字:太ゴB101

どうも長尻になる。 課だった。 から近くも て う男は悪い癖で、 の 番よく出入した訳であっ 前を通る様な位置にあったので この白梅軒というの あり、 それも、 どこへ散歩するにも、 カフェに入ると 元来食慾の は たが、 下宿

の面も

外を眺めていた。

したテーブルに陣取って、

か

かっ

て飲

みながら、

い

、ボンヤリ窓つもの往来に

らぬ

カフェ

廻りをやる位が、

毎日の日

なく散歩に出て、

あまり費用の

か

本でも読んでいるか、 いう職業もなく、 エ こであ いある、 それ İţ で、 学校を出 冷 は しコーヒ 白梅軒という、 た。 九月初旬の 私は、 たば 下宿屋にゴロゴロして D -を啜 ある蒸し暑い かり そ 坂の大通りの中程 で、 行きつけ れに飽ると、 っていた。 まだこれと つのカフ ・晩のこ 当時 当

居 安 な 召 そうかとい によって 「 が あ 時間 あってだが 心 い い 方なので、 地 コーヒーを が ま も二時間 たり、 て、 あ って、 のだろう。 下宿より 洋食一 杯の冷し しもじっ からかったりする訳では 別段、 一杯も三杯もお代りして つは ع Ш 何 嚢中の乏しい ウエ 私はその晩 注文するでなく しているのだ。 コーヒーを十分 となく派手で、 トレスに思 せい ŧ

りして、 で、 本でも読んでいるか、 レスに思召があっ るとどうも長尻になる。 !ある、 を十分もかかって飲みながら 随 ら近くもあり、 Ŕ れは九月初旬のある蒸し暑い 学校を出たばかりで、 って カフェ廻りをやる位が、 居心地 白梅軒という、 ってだが、 時間も二時間もじっとしているのだ。 番よく出入した訳であっ が たり、 () いの 洋食 どこへ散歩するにも、 それに飽ると、 行きつけのカフェで、 からかっ だろう。 それも、 皿注文 まだこれという職業もなく、 毎日の日課だっ 元来食慾の少 いつもの往来に面したテーブルに陣取って、 私はその晩も、 たりする訳では (するでなく、 晩のことであった。 たが、 当てどもなく散歩に出て、 必ずその前を通る様な位置 私という男は悪い癖で、 た。 冷しコーヒーを啜って 安いコー い方なので、 例によって、 ない。 そうかとい この白梅軒というの 私 まあ、 ヒーを は 下宿屋にゴロゴロ つ D坂の大通りの 一つは て、 |杯も三杯もお代 杯の冷しコー あまり費用 宿より何と 別段、 嚢中の乏し にあっ いた。 カフェに入 は ウエ なく たの 下宿 の 当 中 ボ

なのゴシックText W1

12級18歯送り 漢字:こぶりなゴシックW3 プロポーショナルメトリクス+カーニング

それは九月初旬のある蒸し暑い晩のことであった。私 は、D坂の大通りの中程にある、白梅軒という、行きつけ のカフェで、冷しコーヒーを啜っていた。当時私は、学校 を出たばかりで、まだこれという職業もなく、下宿屋にゴ ロゴロして本でも読んでいるか、それに飽ると、当てども なく散歩に出て、あまり費用のかからぬカフェ廻りをやる 位が、毎日の日課だった。この白梅軒というのは、下宿 屋から近くもあり、どこへ散歩するにも、必ずその前を通 る様な位置にあったので、随って一番よく出入した訳で あったが、私という男は悪い癖で、カフェに入るとどうも 長尻になる。それも、元来食慾の少い方なので、一つは 嚢中の乏しいせいもあってだが、洋食一皿注文するでな く、安いコーヒーを二杯も三杯もお代りして、一時間も 二時間もじっとしているのだ。そうかといって、別段、ウエ トレスに思召があったり、からかったりする訳ではない。 まあ、下宿より何となく派手で、居心地がいいのだろう。 私はその晩も、例によって、一杯の冷しコーヒーを十分も かかって飲みながら、いつもの往来に面したテーブルに 陣取って、ボンヤリ窓の外を眺めていた。

なのゴシックText W6

ンヤリ窓の外を眺めていた。

13級21歯送り 漢字:太ゴB101 プロポーショナルメトリクス+カーニング

それは九月初旬のある蒸し暑い晩のことであった。私は、D坂 の大通りの中程にある、白梅軒という、行きつけのカフェで、冷 しコーヒーを啜っていた。当時私は、学校を出たばかりで、まだ これという職業もなく、下宿屋にゴロゴロして本でも読んでいる か、それに飽ると、当てどもなく散歩に出て、あまり費用のかか らぬカフェ廻りをやる位が、毎日の日課だった。この白梅軒とい うのは、下宿屋から近くもあり、どこへ散歩するにも、必ずその 前を通る様な位置にあったので、随って一番よく出入した訳で あったが、私という男は悪い癖で、カフェに入るとどうも長尻に なる。それも、元来食慾の少い方なので、一つは嚢中の乏しい せいもあってだが、洋食一皿注文するでなく、安いコーヒーを二 杯も三杯もお代りして、一時間も二時間もじっとしているのだ。 そうかといって、別段、ウエトレスに思召があったり、からかった りする訳ではない。まあ、下宿より何となく派手で、居心地がい いのだろう。私はその晩も、例によって、一杯の冷しコーヒーを 十分もかかって飲みながら、いつもの往来に面したテーブルに 陣取って、ボンヤリ窓の外を眺めていた。

江戸川乱歩「D坂の殺人事件」(青空文庫)より

なのゴシックDisplay W7

たりする訳ではない。

32級40歯送り 漢字:イワタゴシックオールドB プロポーショナルメトリクス+カーニング

私は、D坂の大通りの中程にある、 白梅軒という、行きつけのカフェで、 冷しコーヒーを啜っていた。

なのゴシックDisplay W9

16級26歯送り 漢字:ゴシックMB101 DB プロポーショナルメトリクス+カーニング

洋食一皿注文するでなく、 随って一番よく出入した訳であったが、私という男は悪い かといって、別段、ウエトレスに思召があったり、からかっ 癖で、カフェに入るとどうも長尻になる。それも、元来食 散歩するにも、必ずその前を通る様な位置にあったので お代りして、一時間も二時間もじっとしているのだ。そう この白梅軒というのは、下宿屋から近くもあり、 の少い方なので、 一つは嚢中の乏しいせいもあってだが 安いコーヒーを二杯も三杯も

なのゴシックDisplay W6 24級34歯送り 漢字:太ゴB101

プロポーショナルメトリクス+カーニング

あまり費用のかからぬカフェ廻りをやる位が、 まだこれという職業もなく れに飽ると、当てどもなく散歩に出て 宿屋にゴロゴロして本でも読んでいるか

毎日の日課だった。

なのゴシックDisplay W5

11級15歯送り 漢字:イワタゴシックオールドD プロポーショナルメトリクス+カーニング

私はその晩も、例によって、一杯の冷しコーヒーを 十分もかかって飲みながら、いつもの往来に面した テーブルに陣取って、ボンヤリ窓の外を眺めていた。

なのゴシックDisplay W6

36級44歯送り 漢字:太ゴB101 プロポーショナルメトリクス+カーニング

まあ、下宿より何となく派手で、 居心地がいいのだろう。

江戸川乱歩「D坂の殺人事件」(青空文庫)より